

～良好な住環境と移住・定住を促進する～

平成29年度住宅施策等について



1 栃木市空き家等対策計画の策定について

ますます増加する空き家に対処するには、目標を設定し、計画的かつ継続的に空き家対策を実施することが必要であるため、栃木市空き家等対策計画を策定しました。

今後は、本計画に基づき、空き家を減少させるとともに活力あるまちづくりを推進します。

(概要)

- ・計画期間は、平成29年から平成38年度までの10年です。
- ・現存する空き家のほか、今後発生が見込まれる空き家を想定しました。
- ・現状を分析した上で、基本方針、年間目標等を決めました。

2 定住促進住宅企画コンクール審査結果について

市内で2番目に古い見世蔵（旧綿忠はきもの店）を移住体験施設として活用する案を昨年未まで募集したところ、市の内外から12組の応募があり、審査の結果、次のとおり最優秀賞と優秀賞を決定しました。

この案を参考として、平成29年度に施設整備を実施します。（空き家対策総合支援事業の空き家活用事業として、県内初の取組みです。）

- 最優秀賞 植田千尋と平野 陽（東京都市大学と東京工業大学の学生）
「綿忠クラフトハウス+カフェ」
- 優秀賞 東京都市大学 建築学科 堀場研究室
「2つの蔵と通り土間の「まちのリビング」」

《受賞の理由》

- ・大通りに面した見世蔵を店舗として集客を図っていること。
- ・多目的に利用できるスペースを中央部に設け、北隣のポケットパークと一体的に活用することで賑わいの創出を図っていること。
- ・奥の土蔵部分を宿泊スペースに利用し、セキュリティー・プライバシーに配慮したこと。
- ・店舗運営者に施設全体を管理させるという案が合理的・現実的であること。

3 結婚新生活支援補助金交付事業

市では、婚姻に伴い新生活を開始する夫婦の新居の購入若しくは賃貸又は引越しに関する費用の一部を助成する結婚新生活支援補助制度を平成28年9月から実施していますが、新年度より夫婦の所得制限を300万円から340万円に、補助額を18万円から24万円に引き上げます。